第４６回情報交流の会 実施報告書（HP 掲載）

開　催　日　時	2021 年 6 月 5 日(土)　13:30～17:00
名 称 ・ 主 催	第 46 回 情報交流の会 ・ （公社）日本技術士会 神奈川県支部
開　催　場　所	Web 開催（リアル会場のないリモート開催）
行　事　内　容	1)神奈川県支部からの活動報告（総務、研修、技術士活性化の各委員会） 2)会員等によるＣＰＤ講演 3)リモート交流会
参　加　人　数	参加者 64 名(正会員 49　準会員 5　未入会・その他 10)［二次合格 22　一次合格 6］

【情報交流の会】司会 嶋田会員

■開会挨拶(清水支部長)

日本技術士会創設期から現在に至るまでの歴史と役割や、神奈川県支部の発展のためにさまざまな改善を実行された経緯にも触れながら会員と後継者への励ましや労いの言葉をかけられておりました。

■支部活動報告

総務委員会、研修委員会ならびに技術士活性化委員会より今後の予定等について説明がありました。

■会員等によるＣＰＤ講演

講演①「技術者倫理を考える」　　講師　飯田ＩＣＴ技術士事務所　　飯田敏幸氏

講師は日本電信電話公社（現 NTT）に勤務される傍ら、日本技術士会の倫理委員会や広報委員会に所属して現在に至るまで中心的な活躍をされてきております。

業務遂行上において求められる「技術者倫理」について、技術者（技術士）は公衆の安全と健康福利に配慮しながら社会･文化及び環境に対する影響を予見する必要性を説かれていました。また、関係法令の遵守、業務と責任の範囲の明確化ならびに結果の責任についての注意もありました。

最後に「技術士倫理綱領」だけでなくその解説部分の理解を深める必要性と、業務履行上において「組織内で話をきいてもらえる人」や「技術者倫理を語れる人」への探究を心がけてもらいたいという説明がありました。この情報交流の会参加者には心に刻まれる印象的な言葉となりました。

講演②「旧上瀬谷通信施設地区」のまちづくり
～２０２７年国際園芸博覧会を起爆剤とする横浜市郊外部の新たな活性化拠点の形成～

講師　　横浜市都市整備局上瀬谷整備・国際園芸博覧会推進室
上瀬谷整備推進課 課長　西岡　毅氏

横浜市北西部の瀬谷区と旭区に跨る「旧上瀬谷通信施設」が平成２７年に日本に返還されたことにより、その跡地利用に関わる計画が策定されましたがその概要についての講演がありました。

地区面積は約２４２ha で平成２９年に「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」が発足し、地権者と横浜市による検討が開始されて、市民意見も踏まえ令和２年に「土地利用基本計画」が策定されました。

この計画では、全体区域を「観光・賑わいゾーン」、「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」ならびに「物流ゾーン」に区分し、まちづくりのコンセプトとして「みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち」としています。この実現方策として土地区画整理事業を導入して、土地の混在の解消と集約化ならびに都市基盤整備を予定しているそうです。また、交通アクセスとして相鉄線瀬谷駅からの新交通システムや区域周辺道路の整備も計画されているとのことです。

さらに都市基盤整備を促進して先導的なまちづくりに寄与するため、この区域内の約１００ha ほどのエリアで２０２７年開催予定の国際園芸博覧会の準備も進めているとのことでした。関係者の皆様のお力によって活力あふれるまちが創出されることを待ち望んでおります。

【2019/2020 年度 技術士第一次試験/第二次試験新合格祝賀会】司会 小原会員　（リモート交流会）

○新合格者からの１分間スピーチによる自己紹介（メインセッション）
・リモート交流会に参加した会員のうち、2019/2020 年度の技術士試験に合格された会員から受験動機、抱負ならびに仕事の内容等について自己紹介がありました。

○参加者間の歓談・情報交流（ブレークアウトルーム）
・参加者が１０の部屋に分かれて、それぞれの部屋の会員間で情報交流を行いました。